

カツラ感震自動ガス遮断装置 グラピタ



カタログNo. 供 5405-02

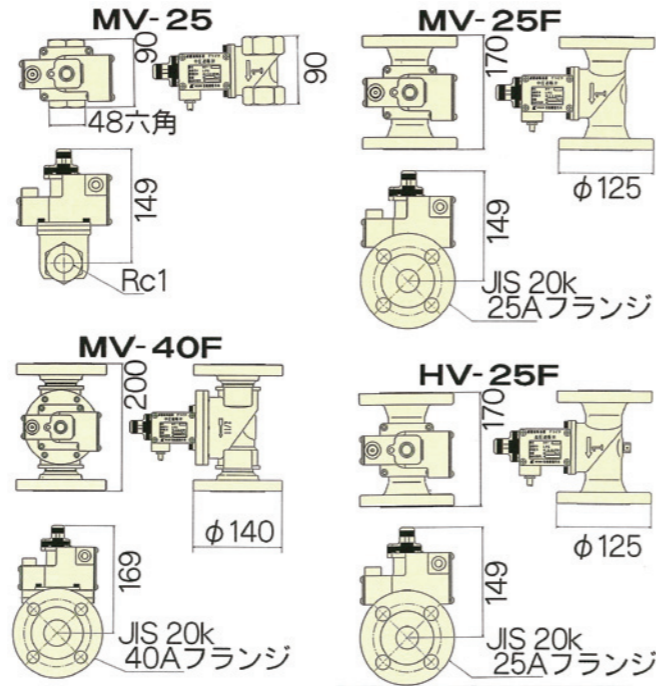
●感震器仕様

型式	G-200	G-250	G-400
作動方式	重垂磁石式 (機械式)		
取付方式	壁面取付	地盤面設置型 (ボックス付)	
リリース接続部	M12×1 雌ネジ		
動作表示	感震器本体表示窓 緑色：警戒 赤色：作動		
リセット方式	「ツマミ」の回転による		
出力	垂直方向押し出し：1kg 出力長さ4mm以上 本体：幅129×高さ143×奥行95		
外観寸法	取付板：幅 147 高さ 163 奥行き 105	外箱：幅 183 高さ 379 奥行き 133	
感震機能	感震検出機能 150~250ガル	200~250ガル	320~400ガル
動作点検	感震器のツマミの回転による手動操作		
精度点検	感震器の傾斜による作動角度の確認		
本体	ASA樹脂		
センサ	アルニコ/希土類金属		
センサ保持部	ポリカーボネート/黄銅		
取付板	SPCC		
外箱・ベース	SPCC SS330		
耐候性	簡易防滴構造		
使用温度範囲	-10~40℃		
使用湿度範囲	90%RH以下		
最大耐用年数	10年 (但し雨水、塩害などないこと)		
適用遮断弁	かつらグラピタ遮断弁シリーズ MV-25、MV-25F、MV-40F、HV-25F		
定価 (税込)	52,800円 (55,440円)	165,000円 (173,250円)	166,000円 (174,300円)

●遮断弁仕様

型式	MV-25	MV-25F	MV-40F	HV-25F
作動方式	磁石レバー式 (機械式)			
接続口径	Rc 1	25A 20K フランジ	40A 20K フランジ	25A 20K フランジ
容量	70kg/h	100kg/h	200kg/h	100kg/h
リリース接続部	M12×1 雌ネジ			
動作表示	ハウジングキャップ部 無色：弁開 赤色：弁閉			
リセット方式	接点出力 (a接点 接点容量：DC30V 3A)			
耐圧試験圧力	0.8MPa (8kg/cm ²)		2.7MPa (27kg/cm ²)	
最高使用圧力	0.2MPa (2kg/cm ²)		1.56MPa (15.6kg/cm ²)	
入力	水平方向押し出し：300g 入力長さ3mm以上			
動作点検	感震器の操作による手動点検			
本体	ダクタイル鋳鉄 (球状黒鉛鋳鉄) FCD-450			
ハウジング	アルミニウム合金ダイカスト ADC-12			
耐候性	簡易防滴構造			
使用温度範囲	-10~40℃			
使用湿度範囲	90%RH以下			
最大耐用年数	10年 (但し雨水、塩害などないこと)			
適用感震器	かつらグラピタ感震器 G-200、G-250、G-400			
定価 (税込)	112,000円 (117,600円)	129,000円 (135,450円)	218,000円 (228,900円)	210,000円 (220,500円)

●遮断弁寸法図 (単位：mm)



●リリース仕様

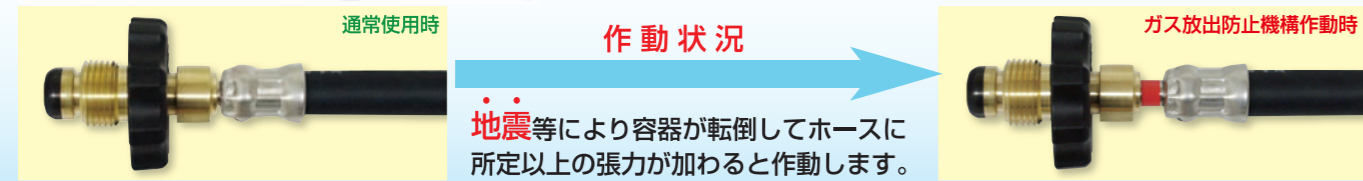
形式	全長 (mm)	接続	使用範囲	定価 (税込)
REL-5	500	M12×1	通常G-200用、感震器と遮断部とのリリース接続部の直線距離350mm以下	13,200円 (13,860円)
REL-10	1000	雄ネジ	通常G-250、400用、感震器と遮断部とのリリース接続部の直線距離1300mm以下	21,000円 (22,050円)
REL-18	1800			26,400円 (27,720円)

注：リリースは半径150mm未満に曲げない様にしてください。

ガス放出防止型高圧ホース グラピタホース

地震対策機器のガス放出防止型高圧ホースもご利用ください!!

【特徴】ガス放出防止型高圧ホースは、地震、落雪等や、その他の要因で容器が転倒して高圧ホースに所定以上の張力が加わった場合に、容器のバルブ部分から外部へガスの放出を防止する高圧ホースです。



〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1-1(アーバンスクエア横浜8F)
TEL (045)461-2334 FAX (045)461-2354 E-mail info@katsuraseiki.co.jp

安全に関するご注意

【ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や損害を未然に防止する物です】

- 据付け、ガス配管、電気工事は必ず専門業者に依頼してください。施工は必ず取扱説明書の「据付工事説明」に従って行ってください。
- お使いになる前には、必ず取扱説明書をよくお読みになり、充分理解してお使いください。
- LPガス専用ですので、他の用途には使用しないでください。

※本カタログ記載の価格は、品質改善や原材料費等の都合により、予告なく変更することがあります。また、運賃・取付費は含まれておりません。
※本カタログ記載の仕様寸法は改良のため予告なく変更することがあります。

お求めは安心とサービスをお届けする当店で…

簡易ガス用・業務用・民生用
—LPガス用 感震自動ガス遮断装置—

グラピタ



地震によるガス漏えいを防ぎ、
二次災害を防止する
感震自動ガス遮断装置のご提案



- ① 省スペースで設置工事が簡単
- ② 感震器作動時にガスを放出せず安心
- ③ 電気等の動力源がいらないため、供給元の設置に最適
- ④ 誤作動しにくいシンプルな構造

もしもの事態に、大きな安心。

感震自動ガス遮断装置 カツラ グラピタ

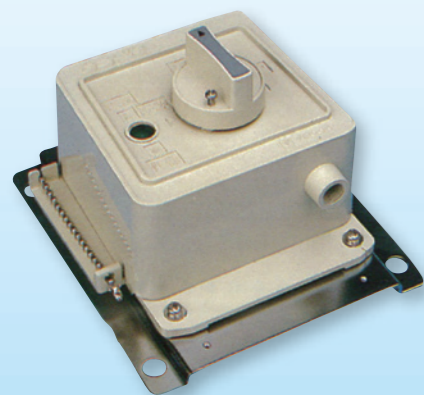
○カツラの感震自動ガス遮断装置「グラピタ」は、遮断弁を高圧又は中圧ラインに取り付け、感震器を接続するだけで、設定値以上の地震が発生すると、自動的にガスを遮断します。

○「グラピタ」は、**電気等の動力源がいないため**、簡易ガス供給設備をはじめとして、業務用供給設備、民生用供給設備等の供給元の遮断に適しています。

●**感震器** 感震器は作動設定値により、G-200・G-250・G-400の3種類から選択できます。

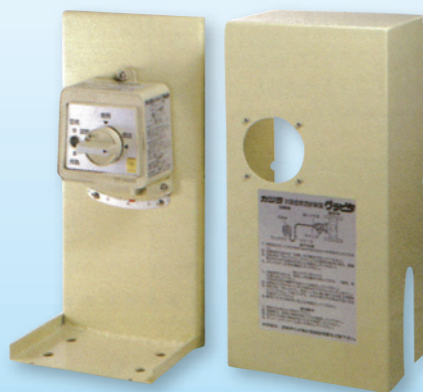
G-200

G-200は壁面取付型で、取付けが簡単です。業務用・小規模供給設備に適しています。
・G-200は150～250ガル（震度階級5強相当）で作動します。



G-250・G-400

G-250・G-400は地盤面設置型で、強固な地盤面にしっかり固定することができますので、簡易ガス設備、大規模供給設備に適しています。
・G-250は200～250ガル（震度階級5強相当）で作動します。
・G-400は320～400ガル（震度階級6強相当）で作動します。



●**遮断弁** 設置方法によりMVタイプ（中圧用）・HVタイプ（高圧用）の2タイプがあります。

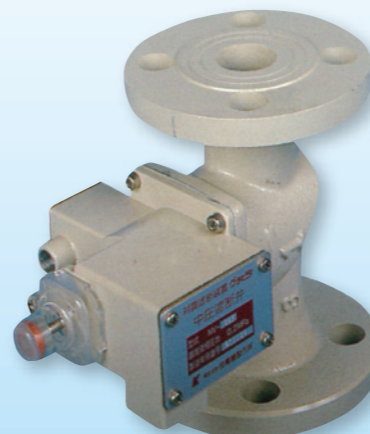
MVタイプ（中圧用）

中圧ラインや、低圧W方式に設置するタイプです。



HVタイプ（高圧用）

高圧ライン、主として単段調整器の前に設置するタイプです。

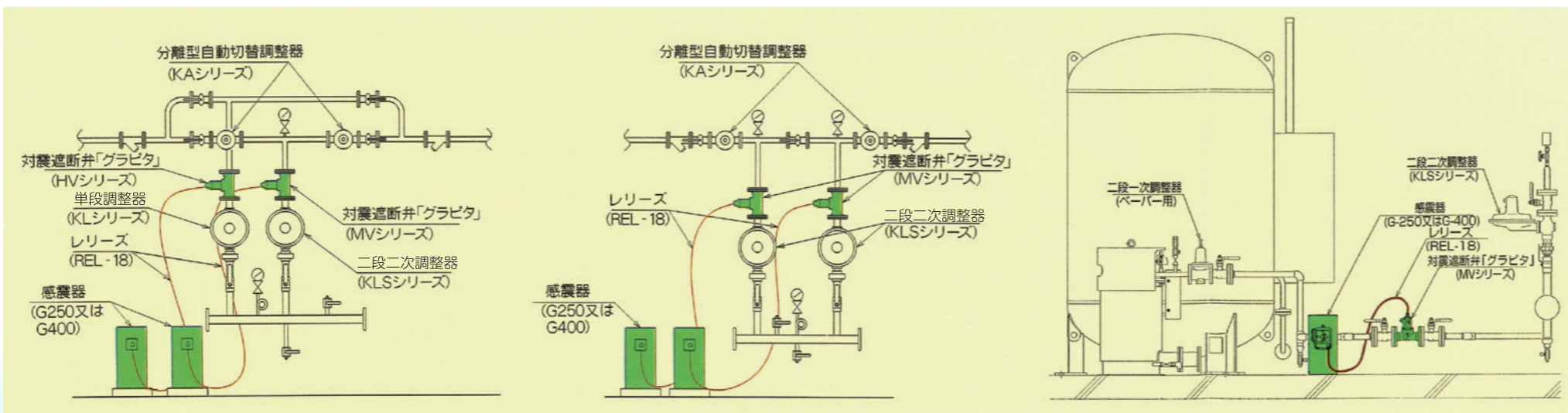


●**設置例** ※保守点検のためにバイパス配管をおすすめします。

● 高圧バイパス方式 ●

● 低圧W方式 ●

● バルク供給設備 ●

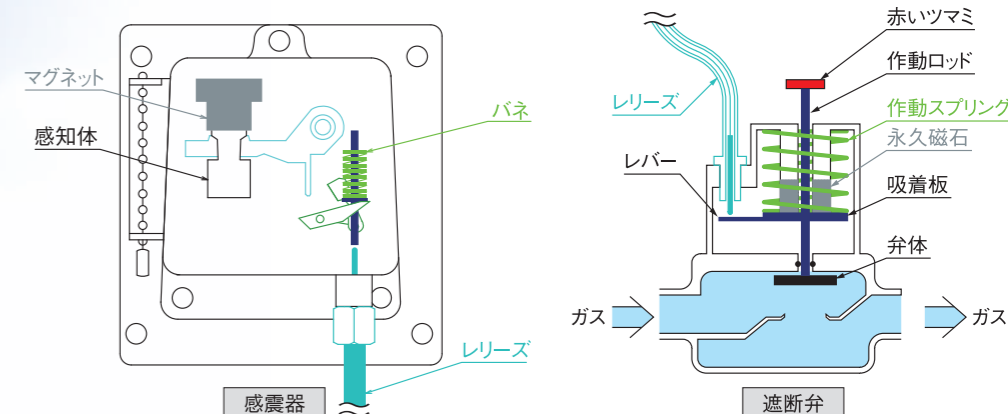


※感震器は、設定値（3タイプ・仕様参照）以上の地震の揺れを感知すると感知体が作動し、押し下げられた作動スピンドルの力を、リリースを介し遮断弁に伝える機能を有しています。

● グラピタの作動原理

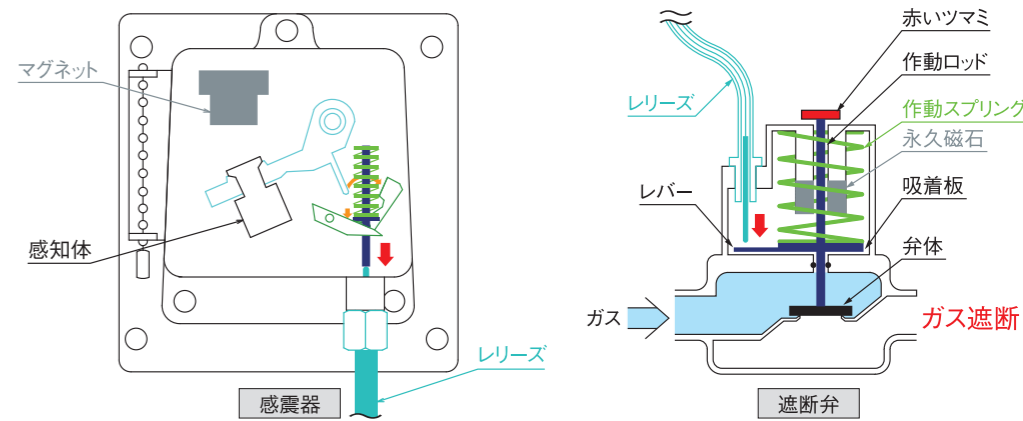
● 通常弁開時（待機状態）

弁開状態のとき、遮断弁の中では、永久磁石に吸着板が吸着されています。吸着板と一体になっている弁体が上に引き上げられるため、弁が開いた状態がキープされます。また、感震器の中にもマグネットがあり、感知体を固定しています。



● 地震発生時

設定値以上の振動が起きると、感震器の感知体がマグネットから外れ、リリースの先端を押し下げます。（リリースとは、ケーブルを柔軟なパイプに通し、ケーブルの両端に金属の硬い軸を取り付けたものです。片方の金属を押すと、もう一方も押されて飛び出すので、力を物理的に伝えることができます。）感知体側のリリース先端が押されることで、遮断弁側のリリース先端が飛び出し、遮断弁内部のレバーを押します。レバーはリリースからの力を拡大して吸着板を永久磁石から引き離し、作動スプリングのばねの力によって弁を閉じます。



● 設置事例

● 30本立て集合装置 ●

● バルク供給設備 ●

